

前期基本計画 平成27年度 施策方針評価書

政 策：04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

基本施策：05 持続可能な水道経営

施 策：01 水道経営基盤の充実

施策担当職・氏名 水道経営課総括主査 小林純子

1. 施策の平成27年度までの実現状況を明らかにする

(1) 施策の内容

水道事業の収益確保に努め、水道の知識と技術力を有する職員の育成、広報活動など情報発信の充実、広域連携及び官民連携の推進、委託業務の最適化を進め、いつでも安全な水道水の供給ができる最適な事業形態の水道事業経営を目指します。

(2) 施策目標値の達成状況

No	この施策に関わる施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 経営資本営業利益率 単 位 %	1.9	1.9	1.9	1.9	1	1	E	
			1.96	-	-	-	-	0.0	
2	幸福 滝沢市に愛着がある市民の割合 単 位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	D	
			72.3	-	-	-	-	△54.3	
	単 位								

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事務事業名 事務事業目標指標	推 移	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	単 位	目標値						
		実績						
	単 位	目標値						
		実績						
	単 位	目標値						
		実績						
	単 位	目標値						
		実績						

前期基本計画 平成27年度 施策方針評価書

政 策 : 04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

基本施策 : 05 持続可能な水道経営

施 策 : 01 水道経営基盤の充実

施策担当職・氏名 水道経営課総括主査 小林純子

2. 施策の実現に向けての平成27年度までの取り組み状況を分析する

(1) 施策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B 概ね達成した

水道事業が施設の「新設」から「維持・更新」へと移行しつつある現在、水道施設更新に伴う費用の増加や将来の人口減少による水需要の減少等により、水道事業の経営環境は今後厳しさを増すと見込まれます。安全な水道水を安定供給するためには、経費抑制、収入の確保、業務の効率化、人材育成と技術の確保及び継承などの経営基盤の強化が必要であり、健全な水道経営を目指して平成34年度までの水道事業の指針となる新水道ビジョンの策定に取り組みました。

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成27年度の重点課題の達成（実現）状況

B 概ね達成した

【重点課題】

効率的な事業経営に努め、職員研修、広報活動の充実を図ります。

【重点課題に対応した達成状況】

新水道ビジョン及び前期経営計画について、滝沢市上下水道事業経営審議会の答申を受けました。

職員の知識と技術の向上を図るための計画的な職員研修、業務の効率化・平準化・迅速化を図るための業務委託の見直し、水道事業への理解を深めていただくための広報活動の充実を図りました。

3. 施策の実現に向けての平成27年度実施後での変化を認識する

(1) 施策の実現に影響する社会環境変化

B 社会環境変化あり

給水人口及び給水収益は微増していますが、将来的には、少子高齢化や水道使用者の節水意識の定着等さまざまな社会構造の変化を要因として、給水収益が減少していくものと予想されます。

(2) 基本施策との関連性から施策の見直し

A 必要なし

基本施策達成のため、現時点では当施策の見直しは必要ないと考えます。

4. 施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 平成29年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B 課題あり

【今後の方向性】

引き続き健全かつ効率的な経営に努めます。

【引継課題】

民間の業務専門知識を活用することによって、業務の効率化、平準化、迅速化、信頼性の向上を図り、かつ、業務委託の進展により対応する職員削減と、上下水道部全体の組織体制の見直しをすすめ、効率的な経営につとめます。

業務委託にあたっては、プロポーザル方式により業者選定を行い、業務の確実な移行を実施する必要があります。

